

## ◆漁業士活用育成事業

### 平成22年度青年漁業士養成講座

水産業改良普及センター 平安名盛正

平成22年12月2日水産業改良普及センターにおいて、青年漁業士講座を開講した。今回は、5人という人数に加え、関係者の参加もあり、にぎやかな中での講座開講となった。青年漁業士候補者として、伊平屋漁協 新里齊士氏（しんざと よしと）、名護漁協 岸本幸次氏（きしもと こうじ）、石川漁協 伊波英明氏（いは ひであき）、石川漁協具志川支所 平川 隆氏（ひらかわ たかし）糸満漁協 国吉 農氏（くによしみのり）の5人が出席した。5人の青年漁業士候補が5人共に漁船漁業を主体とした漁業ということで、講師には、水産業改良普及センター 糸数所長、糸満漁協所属 指導漁業士 新垣哲二氏、県水産海洋研究センター 平手康市主任研究員を招いた。糸数所長から「漁業士制度と水産業改良普及事業について」というテーマで漁業士制度とH22年度水産業改良普及センターの事業内容について説明を頂いた。続いて、新垣指導漁業士から「漁船漁業(ソデイカ、パヤオ)について」というテーマで漁師として歩むことになった経緯や漁船漁業者としての心構えについてお話しを頂いた。最後に平手主任研究員からは、「インターネットを利用した海況情報の取得方法について」というテーマでPCを活用した海況、海面高度、気象情報等の入手方法から出港時の漁場選定材料となる情報の分析方法について分かりやすい解説が行われた。事前調整では、PCにふれながら、情報入手実演も青年漁業士

候補のみなさんに指導する話ではあったが、実演については積極的にPCを操作したいという候補者がおらず、実演指導については断念した。講座終了後懇親会も開催。漁協職員や県職員等多くの方の参加があり、にぎやかな中にもお互いの情報交換の場となった。

